



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月27日

上場取引所 東

上場会社名 日本ガス株式会社(登記上の商号 日本瓦斯株式会社)

コード番号 8174 URL <http://www.nichigas.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 和田 眞治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経財部長 (氏名) 宮本 英一

TEL 03-5308-2111

四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	80,153	△7.7	5,416	55.9	5,099	56.5	3,143	64.7
27年3月期第3四半期	86,869	2.3	3,475	△8.5	3,258	△17.1	1,909	△28.7

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 3,203百万円 (26.2%) 27年3月期第3四半期 2,538百万円 (△14.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	88.49	—
27年3月期第3四半期	49.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	139,551		56,708		40.6	
27年3月期	123,910		34,969		28.2	

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 56,703百万円 27年3月期 34,964百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
28年3月期	—	13.00	—		
28年3月期(予想)				17.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	116,000	△7.7	11,700	16.8	11,100	17.7	6,600	19.4	177.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	48,561,525 株	27年3月期	48,561,525 株
28年3月期3Q	5,877,566 株	27年3月期	13,828,252 株
28年3月期3Q	35,528,142 株	27年3月期3Q	38,315,748 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は、第2四半期連結会計期間より「役員報酬BIP信託」を導入しております。このため28年3月期3Qの自己株式数については、当該信託が所有する当社株式291,300株を含めて記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11
(2) 需要家戸数等の推移	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

国内のエネルギー業界におきましては、2016年4月に電力小売りが全面自由化されることとなり、異業種からの参入や異業種との連携によるセット料金メニューが次々と発表され、自由競争下での生き残りをかけた営業活動が既に開始されております。2017年4月には都市ガス小売りの全面自由化が予定されており、業種の垣根を越えた再編等が一層加速するものと思われま

す。このような状況を踏まえ、当社は、安全と安定供給を担保しつつ、お客様にエネルギーサービスの新たな利便性を提供することが極めて重要と考え、2015年10月5日付で東京電力株式会社と電力・ガスのセット販売に関する新たなサービスを組成するための業務提携契約を締結いたしました。今後は、お客様に選択して頂ける様々な付加価値の創出に、協力体制を強化し取り組んで参ります。

また、急速に変化する事業環境の中で勝ち抜くために、財務基盤の強化と顧客基盤の拡充、及びガス事業における業務効率の向上が急務と考え、2015年12月に海外募集による自己株式の処分により194億円の資金調達を行いました。

新たな取り組みといたしましては、東京海上日動火災保険株式会社と共同で、全てのガス機器の10年保証と駆けつけサービス（水まわり等のトラブルに無料で対応する。）を組合せたニチガス・プロテクトメンバー・サービス「大きなお世話」を開発し、ご契約頂いたお客様の毎日の生活を幅広くサポートするサービスを開始いたしました。

今後は、お客様に選ばれる総合エネルギー企業への成長を目指し、ブランディング戦略を進めると共に、エネルギー小売自由化が進み厳しい市場環境にある米国及び豪州の投資先から得られる知見を活かした魅力的な料金メニューの開発に注力して参ります。

当社で既に稼働し、検針・配送・保安等のオペレーションコストの削減に大きく寄与しているクラウドとモバイルデバイスの連携システムを、他社との効率的な業務連携において最も重要なシナジーツールと位置付け、今後、多様化が予想される料金メニュー等への対応が可能となるようリニューアルを進めており、さらにICT、IoT、フィンテック、ブロックチェーン等の領域への先行投資を積極的に展開して参ります。

なお、当第3四半期末の当社グループのお客様数は、前期末に比べ36千戸増の1,144千戸と順調に増加しております。

当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、お客様数は順調に増加いたしましたが、ガス販売量が暖冬の影響等により前年同期に比べ減少したことに加え、LPガス事業において原料価格の低下をお客様に還元したこと等により、801億5千3百万円（前年同期比7.7%減）となりました。

利益面につきましては、業績の向上に貢献した社員にインセンティブを与えることを目的とした新人事制度の導入に伴う労務費の増加等がありましたものの、原料価格が前年同期に比べ低く推移し売上原価が減少したこと等により、営業利益は54億1千6百万円（前年同期比55.9%増）、経常利益は50億9千9百万円（同56.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は31億4千3百万円（同64.7%増）と、いずれも大幅な増益となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント別の概況は次のとおりであります。

[LPガス事業]

LPガス事業におきましては、家庭用ガス販売量がお客様数の順調な伸びに伴い若干の増加となりましたが、業務用ガス販売量が高く推移した気温・水温の影響等により前年同期に比べ減少したことに加え、家庭用ガス料金の値下げを実施いたしましたため、当第3四半期連結累計期間の売上高は468億8千4百万円と前年同期に比べ34億8千7百万円（前年同期比6.9%減）の減収となりました。

[都市ガス事業]

都市ガス事業におきましては、家庭用ガス販売量が暖冬の影響等により前年同期に比べ減少したことに加え、天然ガスの販売単価が原料費調整制度により低く推移いたしましたため、当第3四半期連結累計期間の売上高は332億6千8百万円と前年同期に比べ32億2千8百万円（前年同期比8.8%減）の減収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ156億4千1百万円(12.6%増)増加し、1,395億5千1百万円となりました。これは主に、海外募集による自己株式の処分により現金及び預金が増加したことと、ソフトウェア開発への投資により無形固定資産が増加したこと等によるものです。

②負債

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ60億9千8百万円(6.9%減)減少し、828億4千3百万円となりました。これは主に、返済が進んだことにより借入金が増減したことと、原料価格の低下により支払手形及び買掛金が減少したこと等によるものです。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ217億3千9百万円(62.2%増)増加し、567億8百万円となりました。これは主に、自己株式の処分による資本剰余金の増加及び自己株式の減少(株主資本の増加)と、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加を反映したものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ12.4ポイント向上し、40.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年度については、当社グループは引き続き、顧客基盤の拡充によるガス販売高の伸張とガス機器の普及・拡大に注力いたしますが、原料価格の値下がりに伴うガス販売単価の低下が、LPガス、都市ガスともに見込まれますため、連結売上高は平成26年度に対し7.7%減の1,160億円になる見通しです。

利益面については、新物流・業務システムを更に進化させ、コスト全般の削減を進め、営業利益は16.8%増の117億円、経常利益は17.7%増の111億円、親会社株主に帰属する当期純利益は19.4%増の66億円になる見通しです。

なお、平成27年10月28日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

追加情報

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、平成27年6月25日開催の第61回定時株主総会（以下、「本株主総会」という。）において、役員退職慰労金制度を平成27年3月期をもって廃止することといたしました。

また、本株主総会終了後も引き続き在任する取締役及び監査役については、平成27年3月31日までの在任期間に応じた退職慰労金を打ち切り支給することが決議されました。

なお、当社の連結子会社6社においても同様の決議がされており、退職慰労金の打ち切り支給時期は各取締役においては当社及び連結子会社の全ての取締役等を退任した時点、各監査役においては監査役を退任した時点（ただし、監査役を退任後に当社及び連結子会社の取締役等に就任している場合は全ての当該取締役等を退任した時点）といたします。

このため、第1四半期連結会計期間において「役員退職慰労引当金」残高を全額取崩し、打ち切り支給に伴う未払額を、流動負債及び固定負債の「その他」に計上しております。

(株式報酬型「役員報酬BIP信託」に係る取引について)

当社は、第2四半期連結会計期間より「役員報酬BIP信託」を導入しております。役員報酬BIP信託とは、米国のパフォーマンス・シェア（Performance Share）制度及び譲渡制限付株式報酬（Restricted Stock）制度を参考にした役員インセンティブ・プランであり、各連結会計年度の基本報酬月額及び役位に応じて決定される役位係数に基づき算出される数の当社株式が、当社の取締役（社外取締役及び非常勤取締役を除く。）、当社と委任契約を締結している執行役員及び当社の連結子会社6社の取締役（以下、「対象取締役等」という。）に交付される株式報酬型の役員報酬です。

当社は、対象取締役等を受益者として、当社株式の取得資金を拠出することにより信託を設定いたします。当該信託は予め定める株式交付規程に基づき対象取締役等に交付すると見込まれる数の当社株式を、当社からの自己株式処分による取得または株式市場から取得いたします。

当社は、株式交付規程に従い、対象取締役等に対し各連結会計年度の役位係数に応じてポイントを付与し、対象取締役等の退任時に累積ポイントの70%に相当する数の当社株式を当該信託を通じて交付し、残りの当社株式については当該信託内で換価処分した換価処分金相当額の金銭を当該信託から給付します。

これらに伴う会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 平成27年3月26日）を適用しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末に役員報酬BIP信託が所有する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により四半期連結貸借対照表の純資産の部に自己株式として計上しており、計上額は1,099百万円、株式数は291,300株であります。

また、上記役員報酬の当第3四半期連結累計期間負担見込額については、株式報酬引当金として計上しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,067	31,951
受取手形及び売掛金	9,525	8,263
商品及び製品	5,263	5,055
仕掛品	27	39
原材料及び貯蔵品	74	87
繰延税金資産	505	331
その他	1,081	1,650
貸倒引当金	△130	△134
流動資産合計	33,413	47,244
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,222	9,854
機械装置及び運搬具（純額）	36,536	35,117
工具、器具及び備品（純額）	504	974
土地	23,267	23,489
リース資産（純額）	2,256	2,373
建設仮勘定	2,297	612
有形固定資産合計	72,086	72,421
無形固定資産		
のれん	5,012	4,644
その他	1,360	2,423
無形固定資産合計	6,373	7,068
投資その他の資産		
投資有価証券	4,719	4,644
その他	8,005	8,868
貸倒引当金	△705	△703
投資その他の資産合計	12,019	12,809
固定資産合計	90,479	92,299
繰延資産	17	7
資産合計	123,910	139,551

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,051	8,224
電子記録債務	3,178	4,162
短期借入金	27,504	25,966
未払法人税等	2,431	899
賞与引当金	459	185
その他	5,144	5,620
流動負債合計	48,769	45,059
固定負債		
長期借入金	33,849	31,330
役員退職慰労引当金	1,043	-
株式報酬引当金	-	127
ガスホルダー修繕引当金	339	314
退職給付に係る負債	2,306	2,377
その他	2,633	3,633
固定負債合計	40,172	37,784
負債合計	88,941	82,843
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,070	7,070
資本剰余金	6,683	15,724
利益剰余金	39,263	41,500
自己株式	△19,297	△8,896
株主資本合計	33,718	55,398
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,109	1,143
為替換算調整勘定	207	212
退職給付に係る調整累計額	△70	△51
その他の包括利益累計額合計	1,246	1,305
非支配株主持分	4	4
純資産合計	34,969	56,708
負債純資産合計	123,910	139,551

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	86,869	80,153
売上原価	54,033	43,636
売上総利益	32,836	36,516
販売費及び一般管理費	29,361	31,100
営業利益	3,475	5,416
営業外収益		
受取利息	204	171
受取配当金	64	90
為替差益	75	-
不動産賃貸料	30	33
その他	180	165
営業外収益合計	555	460
営業外費用		
支払利息	442	388
持分法による投資損失	269	336
その他	59	51
営業外費用合計	771	777
経常利益	3,258	5,099
特別利益		
固定資産売却益	213	9
投資有価証券売却益	26	35
その他	2	-
特別利益合計	242	45
特別損失		
固定資産除却損	85	69
その他	26	7
特別損失合計	111	77
税金等調整前四半期純利益	3,389	5,067
法人税、住民税及び事業税	1,324	1,914
法人税等調整額	161	8
法人税等合計	1,485	1,923
四半期純利益	1,904	3,144
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,909	3,143

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	1,904	3,144
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	266	34
退職給付に係る調整額	3	19
持分法適用会社に対する持分相当額	364	5
その他の包括利益合計	634	59
四半期包括利益	2,538	3,203
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,543	3,202
非支配株主に係る四半期包括利益	△4	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

当社は、平成27年12月14日を払込期日とする海外募集により、自己株式の処分を行いました。これに伴いその他資本剰余金が8,347百万円増加し、自己株式が11,096百万円減少しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本剰余金は15,724百万円、自己株式は△8,896百万円となっております。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

当社グループは販売を主として行っており、報告セグメントごとに生産規模及び受注実績を金額あるいは数量で示すことは行っておりません。当社グループの売上高及び利益面におきましては、性質上季節的変動が著しいガス事業の占めるウェイトが高いために、下期に偏る傾向にあります。

1) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績を報告セグメント別に示すと、次のとおりであります。

報告セグメント別販売実績

報告セグメント	当第3四半期連結累計期間 (27.4.1~27.12.31)	前第3四半期連結累計期間 (26.4.1~26.12.31)
LPガス事業(百万円)	46,884	50,372
都市ガス事業(百万円)	33,268	36,497
合計(百万円)	80,153	86,869

2) LPガス事業の販売実績

区分	当第3四半期連結累計期間 (27.4.1~27.12.31)	前第3四半期連結累計期間 (26.4.1~26.12.31)
ガス(百万円)	35,277	39,813
機器、受注工事他(百万円)	11,607	10,558
合計(百万円)	46,884	50,372

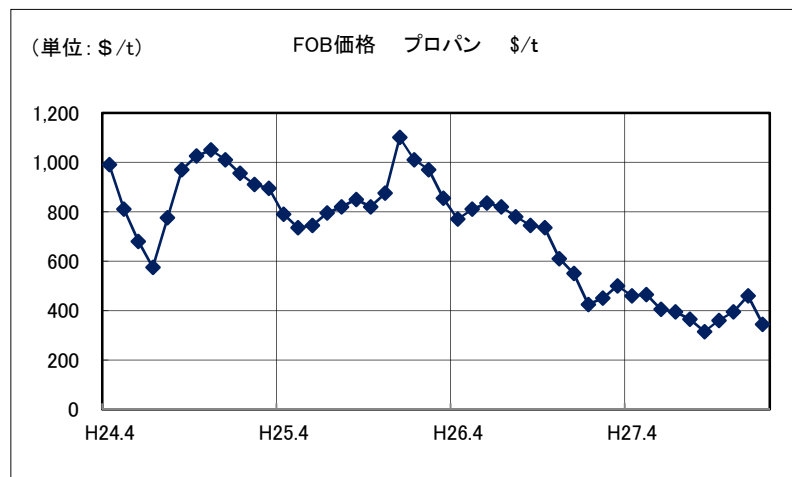
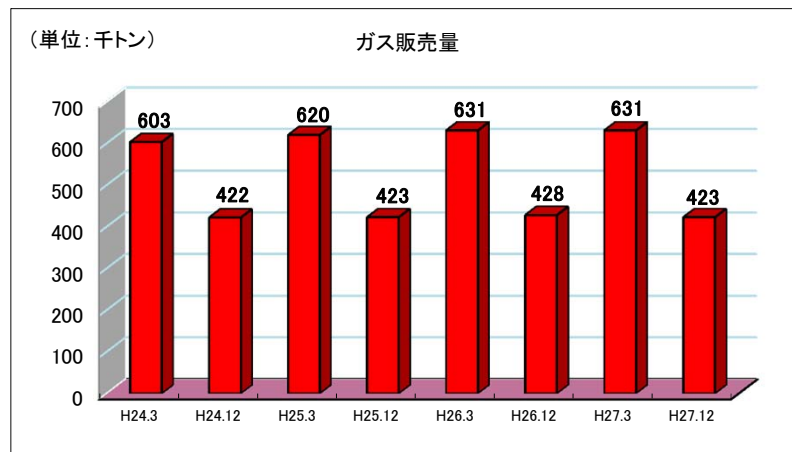
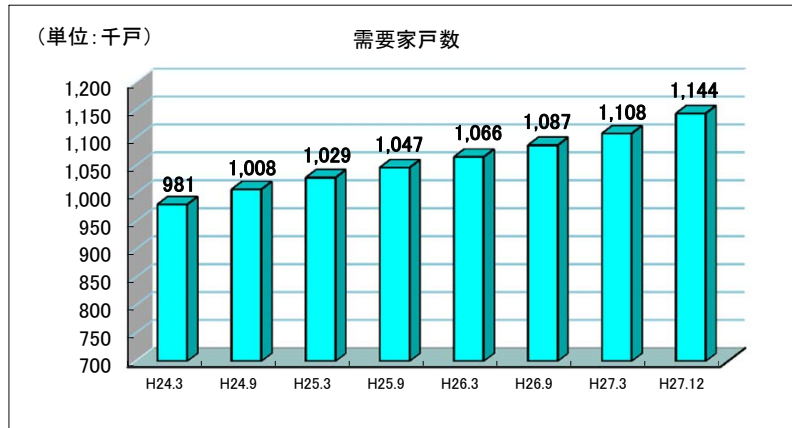
3) 都市ガス事業の販売実績

区分	当第3四半期連結累計期間 (27.4.1~27.12.31)	前第3四半期連結累計期間 (26.4.1~26.12.31)
ガス(百万円)	27,099	30,592
機器、受注工事他(百万円)	6,168	5,905
合計(百万円)	33,268	36,497

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. セグメント間の取引高は相殺消去しております。

(2) 需要家戸数等の推移



(注) ガス販売量には、都市ガス事業における都市ガス(LNG)販売量をLPG販売量(千トン)にカロリー換算して含めております。